

バッチファイル(BATCH)スクリプトによるプロファイル変換によるAnyConnect NAMの自動インストール

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[バッチファイルの作成](#)

[Anyconnectユーザエンド手順](#)

[追加情報](#)

[確認](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Anyconnect NAMエージェントをプロファイル変換とともにバッチファイル(.bat)を介してインストールするために必要な手順について詳しく説明します。このバッチファイルは、システム上でローカルに実行することも、大規模な展開でSCCMサーバを介してすべてのマシンにリモートで実行することもできます。Cisco ISEはこのソフトウェアをプロビジョニングできますが、エンドユーザの操作とインストール権限が必要です。

バッチファイルスクリプトの使用には、次のような利点があります。

- すべてのワイヤレスプロファイル変換。
- VPNモジュールが不要な場合は、無効にできます。
- バッチファイルを実行し、AnyConnectモジュールをすべて一度にインストールすることで、手動による実装の時間とコストを削減します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Windowsオペレーティングシステム。Network Access Managerは、Mac OS XまたはLinuxではサポートされていません。
- AnyConnectパッケージの最小ストレージは50 MBである必要があります。
- WLANサービス(WLAN AutoConfig)がシステムで実行されている必要があります。

注：Network Access Manager XML構成ファイル(userConfiguration.xml)が既に存在する場

合、変換は行われません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Windows 7
- AnyConnect 4.6.0.3.049

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

1. Cisco Anyconnectパッケージ全体をCiscoサイトからダウンロードして展開する必要があります。必要なmsiファイルとconfiguration.xmlファイルは、バッチファイルの実行元の場所に存在する必要があります。

これらのファイルは、C:\ciscoにコピーする必要があります。

anyconnect-win-4.6.03049-core-vpn-predeploy-k9.msi

anyconnect-win-4.6.03049-nam-predeploy-k9.msi

configuration.xml

2. Network Access Managerモジュールは、クライアントシステムに初めてインストールされたときに、既存のWindows 7以降のワイヤレスプロファイルをNetwork Access Managerプロファイル形式に変換するように構成できます。変換できる次の基準に一致するインフラストラクチャネットワーク：

- 開く
- スタティック WEP
- WPA/WPA2 Personal
- 変換されるのは、GPO以外のネイティブWi-Fiユーザネットワークプロファイルだけです。

注：WPA2 Enterpriseプロファイルの場合、configuration.xmlファイルのNetwork Access Manager Profile Editorを使用して、同じ名前のプロファイルを作成する必要がありますを選択します。インストール後にシステムが再起動され、ユーザに通知されるはずです。

設定

バッチファイルの作成

このドキュメントでは、Anyconnect msi, configuration.xmlファイルの想定される場所はC:\ciscoです。これらのコマンドまたはこれらのコマンドを含むバッチファイルは、同じ場所から実行する必要があります。

- **CD C:\cisco**

NAMモジュールをインストールするには、コアVPNモジュールのインストールが必要です。このコマンドは、コアVPNモジュールをインストールし、VPNモジュールタイルを非表示にします。

- **msiexec /package anyconnect-win-4.6.04054-core-vpn-predeploy-k9.msi /norestart /passive
PRE_DEPLOY_DISABLE_VPN=1**

モジュールのインストールを完了するには、タイムアウトが必要です。このコマンドは、タイムアウトを15分に設定します。

- **timeout /t 15**

このコマンドは、プロファイル変換が有効になっているNAMモジュールをインストールします。

- **msiexec /i anyconnect-win-4.6.04054-nam-predeploy-k9.msi PROFILE_CONVERSION=1
/norestart /passive**

モジュールのインストールを完了するには、タイムアウトが必要です。このコマンドは、タイムアウトを15分に設定します。

- **timeout /t 15**

このコマンドは、NAM Profileエディタで作成されたconfiguration.xmlプロファイルを必要な場所にコピーします。

- **xcopy configuration.xml C:\ProgramData\Cisco\Cisco AnyConnect Secure Mobility
Client\Network Access Manager\newConfigFiles**

このコマンドは、必要なインストールと変換が完了したことを示し、2分後にリブートが開始されることを通知します。

- **echo "あなたのマシンは2分後にリブートします。作業内容を保存してください。"**

このコマンドは、2分後にWindowsオペレーティングシステムの再起動を開始します

- **shutdown -r -t 120**

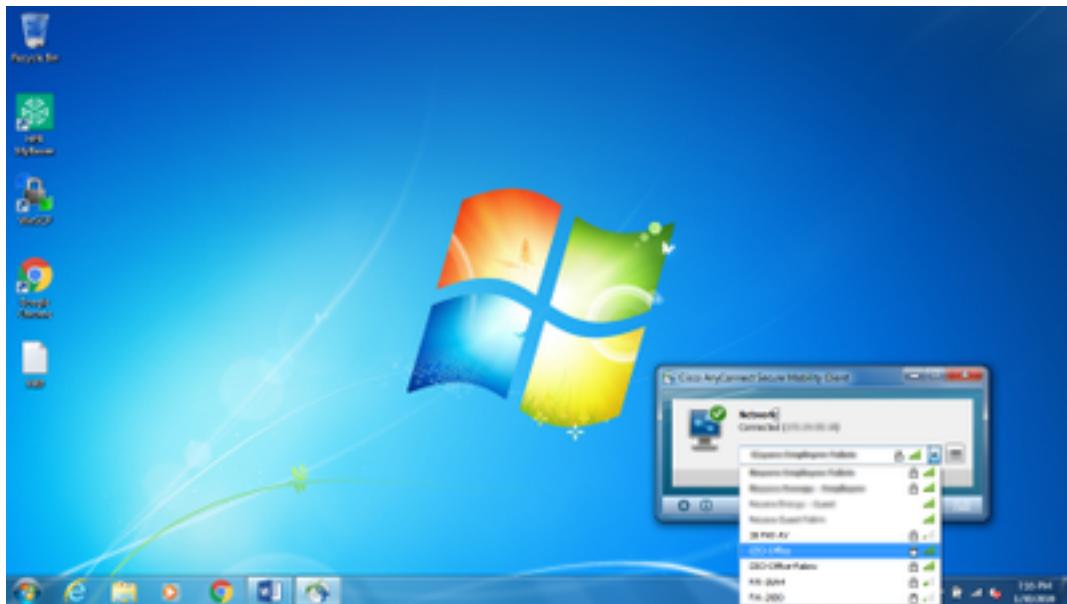
注：これらのコマンド、またはこれらのコマンドを含むバッチファイルはすべて、管理者権限で同じ順序で実行する必要があります。

Anyconnectユーザエンド手順

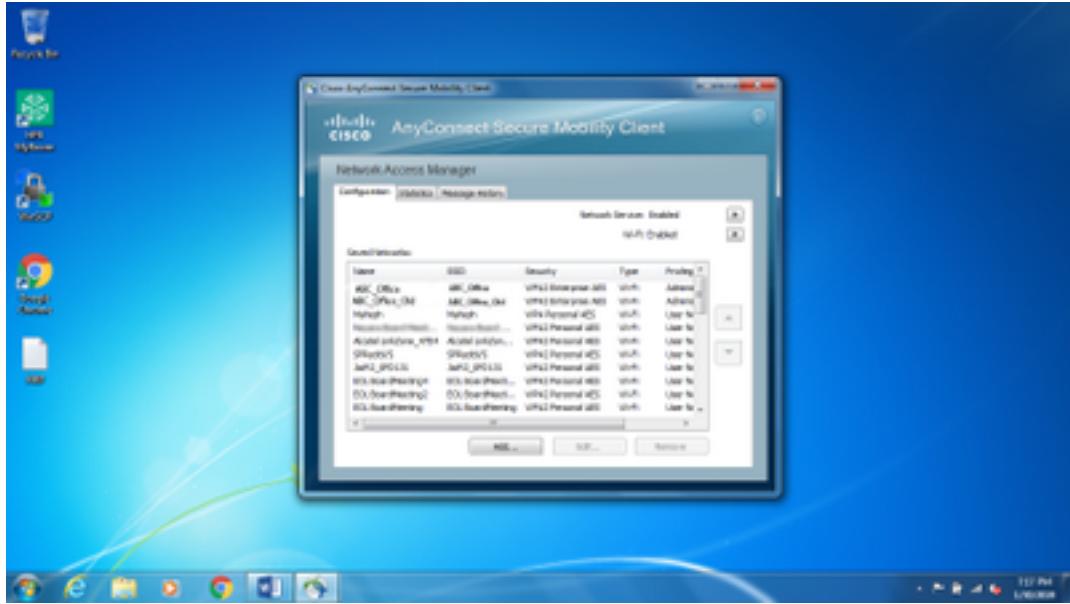
1. マシンの再起動時にAnyconnectエージェントがマシンにインストールされると、Anyconnectアイコンがポップアップ表示され、ユーザがリスト内の優先SSIDに接続されます。



2. AnyConnect NAMモジュールのUIにあるドロップダウンメニューから、他のSSIDに接続できます。

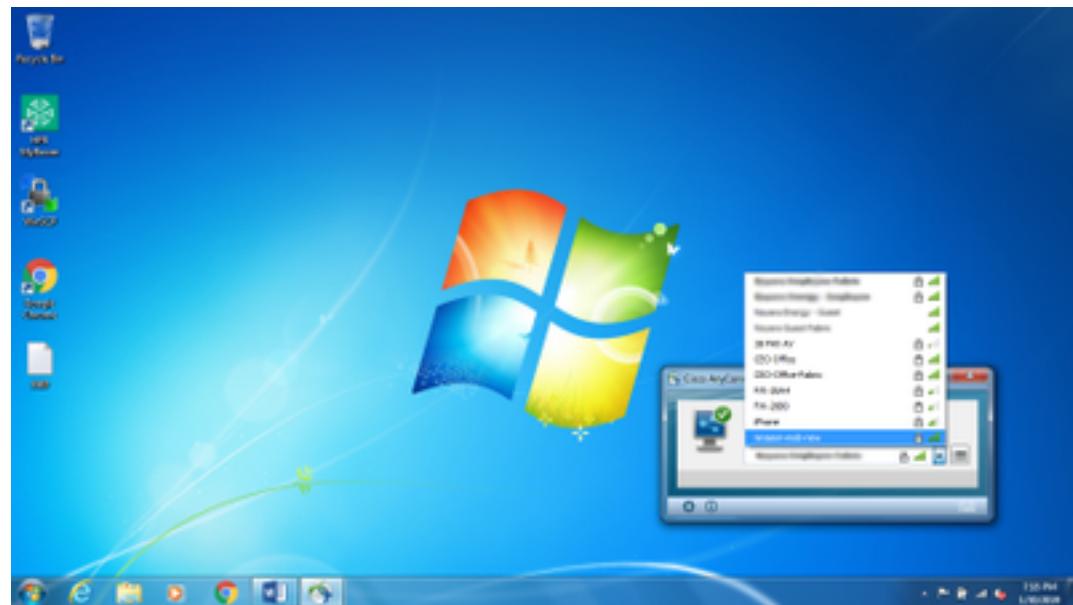


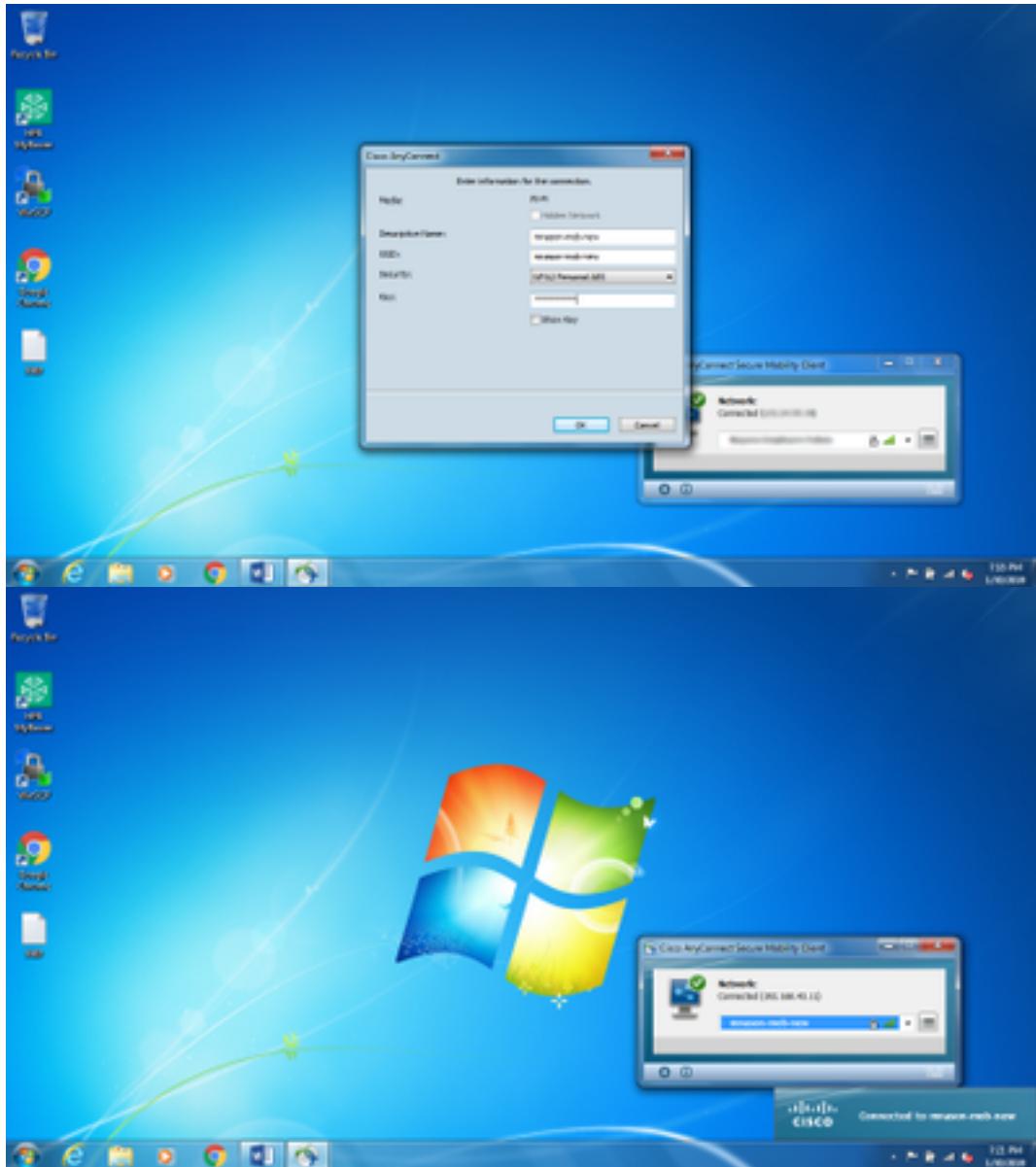
3.保存したネットワークを表示するには、図に示すように、NAMモジュールのUIに表示されているリストアイコンをクリックし、Manage Networksをクリックします。



4. AnyConnect NAMモジュールで管理されるアダプタが提供するネットワークへの接続は、AnyConnect NAMから行う必要があります。

例：新しいWi-Fi接続に接続するためにMnason-mob-newネットワークを選択するには、キーのポップアップ画面が表示されます。新しいネットワークに接続するには、[Key]フィールドにWifiパスワードを入力します。



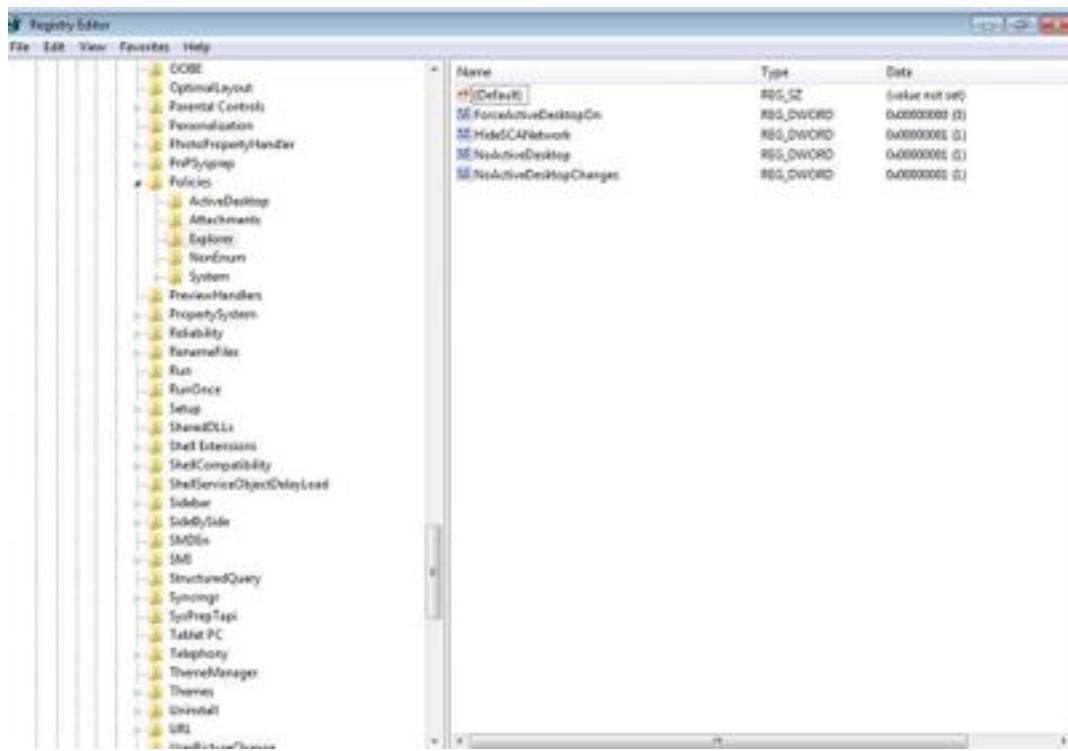


追加情報

ネイティブサプリカントトレイアイコンは、NAMを使用する必要があり、ネイティブサプリカントではなく、ネットワークに接続するユーザを混乱させる可能性があります。ネットワーク接続トレイアイコンを非表示にするために、Windowsレジストリに次の変更を加えることができます。

1. HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows\CurrentVersion\Policies\Explorerに移動します。
2. HideSCANetworkという名前のREG_DWORDの値を、存在する場合は1(16進数)に編集します。存在しない場合は1つ作成します。
3. システムを再起動します。

注：このレジストリの変更は、Windows 7およびWindows 10でテストされました。



確認

ここでは、設定が正常に機能しているかどうかを確認します。

レジストリの変更とリブートの後、ネットワーク接続トレイは非表示になります。

